

石巻専修大学

「石巻専修大学」ホームページ <https://www.senshu-u.ac.jp/shinomaki/>

石巻専修大学
広報係
☎986-8580
宮城県石巻市
南境新水戸1番地
☎0225-22-7717(直)

最新の
情報は
大学HPで。



佐藤さん 佐々木さんに 石巻警察署から感謝状 地区の少年健全育成に協力



感謝状を持つ佐々木さん、佐藤さん(左から)

けながら、非行やいじめの防止、防犯の啓発などに取り組んでいる。2人は石巻地区の少年健全育成に関するさまざまな活動に積極的に関わることが評価された。

佐藤さんは「ポラリスでは、子どもたちが抱えている悩みや少年犯罪について学ぶことができた。活動を通じて多くの方と関わったことで、コミュニケーション能力や臨機応変に対応する行動力も身についた」と自身の成長を語った。

佐々木さんは「川開き祭りでの補導活動や子どもへの学習指導など貴重な経験をさせてもらった。この経験を生かし、来年度からは石巻地区の補導員として頑張りたい」と話した。

「大学生による少年健全育成ボランティア(ポラリス宮城)」として1年次から4年間にわたって活動してきた経営学部4

次から4年間にわたって活動してきた経営学部4

理科実験セミナー

理工・人間の2学部が連携

理系に強い教員の養成を目指す

本学では小中学校の教員を目指す学生などを対象に、文系学生が苦手とする理科や数学を学べる機会を設けている。

その一環として1月18日と25日に、人間学部と理工学部が連携して「理科実験セミナー」を開催した。4月から小学校教諭になる人間学部の学生と、中学校教諭になる理

工学部の学生が参加し、本学教員から手ほどきを受ける。理科実験セミナーは、小中学校の授業で行われている理科実験を毎回取り上げ、適切な指導方法を実践的に学ぶことを目的としている。18日のテーマは、小学5年生理科の「振り子の運動」。小中学校に勤務経験がある人

間学部の新鶴田道也助教授の指導のもと、学生たちは実験器具を使って「振り子が往復する時間を正確に測定する方法」や「理論値との差が生じる理由」などを検証した。

和泉風弥さん(人間4)は「実験器具の扱い方や微小な生物の観察がテーマで、学生たちは子どもたちへの指導場面を想定しながら、真剣な表情で実験を行っていた。」

理科実験セミナーは来年度も実施予定。本学では引き続き、学部の垣根を超えて理科教育や算数(数学)教育に強い教員の養成に取り組んでいく。

理工・辻准教授が参加の研究グループ ニホンザルの群れの つながり示す地図作成

理工学部生物科学科の辻大和准教授が参加する研究グループが、ニホンザルの行動圏データを解析し、個体群のつながり

が進む一方で、過剰な捕獲により絶滅リスクが高まっている地域もある。ニホンザルの行動圏データを全国規模で収集・解析し、各地の群れ同士のつながりの強さを示す2種類の地図を作成した。この地図により、被害予防のために積極的な捕獲が可能で、保護に配慮が必要な地域の見極めができる。期待される。ニホンザル保護管理検討作業部会が中心とな



音楽活動を中心とした文化系サークル・現代芸術研究会が1月27日、石巻市のライブハウス「ラ・ストラーダ」でライブを開催した。3組のバンドが出演し、熱のこもった演奏を披露した＝写真。

本学で「野生動物保護論(3年次後期)」などを受けている辻准教授は「講義中、野生動物の管理を行う際には基盤となる科学的データの収集が重要だと強調している。教員がこのようなプロジェクトに関わっていることを学生たちに知ってもらい、大学は『教育の場』であると同時に『研究の場』でもあることを実感してほしい」と話している。

4年次生に聞く

今園 椋太さん 理工学部生物科学科

教員になる夢をかなえるため、理科の教員免許を取得できる本学に入学しました。

授業は専門性が高く、勉強しがいのあるものばかり。無駄な知識は一つもない。と考え、どの講義もしっかりと聴き、テスト勉強にも一層力を注ぎました。豊かな自然を生かした課外実習や実験も多く、とても良い環境で学ぶことができました。

3年次からは渡辺正芳准教授の研究室に所属。数学を用いて生物について学ぶユニークな研

教員採用試験合格の目標を達成



研究室で、私は「クモの巣の形と頭の向き」――採餌行動の数理モデルによる解析――というテーマで研究を行いました。教員という目標に向け、アルバイトも家庭教師を選択。単に勉強を教えるだけでなく、生徒や父母との適切なコミュニケーションの取り方なども学ぶことができました。教員採用試験の面接では、3年間で20人以上の生徒を指導した経験と「教えることが好き」という気持ちを存分にアピール。その結果、子どもの頃からの夢をかなえることができました。4月からは宮城県で教員としての第一歩を踏み出します。〈福島県安積高、内定先〓宮城県教育委員会(中学校理科)〉

沼倉 凌さん

経営学部経営学科

大学4年間、常に目標を持ち主体的に取り組むことを意識して過ごしました。そのなかで分かったのは「努力は必ず将来につながる」ということです。

在学中、もっとも力を入れていたのは学業です。早いうちから「予習・授業・復習」のサイクルを身につけたことで成績は安定し、2年次から3年連続で在学特別奨学生に選ばれました。家族も喜んでくれ、そのことがさらにモチベーションアップにつながりました。

知識を地域活性化につなげたい



観光学に興味があった私は、大森信治郎ゼミに入りました。四国のお遍路を参考に、地域を徒歩で巡る旅が宮城県内でもできないかと探り、ゼミ生全員で実地調査を実施。松島から金華山まで歩く観光ルートを考えました。宮城県の魅力を再発見できたことも収穫です。就職活動は3年次前期から本格的に始めました。約10社に及ぶさまざまな業種でのインターンシップ経験は、企業分析や自己分析の際にとても役立ちました。卒業後は、大学で学んだ観光学や金融論などの知識を生かし、生まれ育った秋田県の地域経済の活性化に貢献したいと思っています。〈秋田県湯沢高、内定先〓北都銀行〉

令和4年度 学位記授与式のご案内

日時: 3月20日(月)

開場 10:00 / 開式 10:30

場所: 石巻専修大学体育館

- ご家族の参加は学生1人につき1人のみ。新型コロナウイルス感染症の状況によって変更(2部制での挙行等)の可能性があります。
- 式典に参加できない方を対象としたライブ配信を行います。
- 同窓会・育友会共催の「卒業を祝う会」は中止となります。